IAMASカリキュラムツリー（博士前期課程）

科目の学期配置と履修の流れ、ディプロマポリシー（DP）3項目との対応　※学期配置は2026年度公開シラバスによる

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
導入科目 DP①◎　③○	メディア表現基礎1（導入）・2（理解） 4月 メディア表現基礎3（制作）・4（計画） 4月・5月			
綜合科目 DP②◎　①○	綜合学1（総論） 6・7月	綜合学2（展開）／綜合学3（各論） 10〜1月		
専門科目 DP①◎　②○		特論A（環境）／B（応答） 9〜11月 特論C（概念）／D（造形）／E（設計） 12〜2月		
演習科目 DP①◎　②○	制作基礎／制作演習A（設計）・B（技術） 前期 制作演習D（展示） 8月集中※成績は後期	制作演習C（造形） 10・11月	制作演習E（展示） 8月集中※成績は後期	
プロジェクト科目 DP③◎　②○	プロジェクト実習1A（1Ai※）	プロジェクト実習1B（1Bi※）	プロジェクト実習2A	プロジェクト実習2B
研究科目 DP①②③すべて◎	特別研究1A（1Ai※）	特別研究1B（1Bi※）	特別研究2A 構想発表	特別研究2B 中間発表

導入科目は共通基盤として全区分を支える

修士作品＋修士論文（または修士論文）
審査・最終試験を経て修了（2年後期に実施）

左の縦点線＝導入科目は共通基盤として全区分を支える（カリキュラム概要2.2）。※（1Ai・1Bi）は社会人短期コース（1年制）の科目。DP対応の◎○は「カリキュラムマップ」（別紙）の判定による。

体系（カリキュラム概要2.2）：プロジェクト科目を教育研究の中心に置き、研究科目が実践の結果を修士研究としてまとめる。綜合科目は成果の批評と社会的意義を問い、専門・演習科目が知識と技能を供給する。

出典：2026年度シラバス・カリキュラム概要